

登録コード:MH507400 開講年度:2026		授業科目区分		学科共通専門科目 必修(看護) 選択(検査・理学・作業)	
科目名	生命倫理学【全専攻20M以降】 Bioethics				
担当教員	中込 さと子 岡島 志野				
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	全専攻/ 4 年 後期(前半) 火曜・ 2 時限				
単位数、講義室	1 単位 保健学科 3 1 1 講義室			遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	非該当				
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標		
	MH20カリ・保健				
	多くの学問分野に接して幅広い教養と探求的、創造的思考を身に付け、保健・医療の専門職者として必要な学修課題や目標を自ら設定し、常に課題の克服や目標達成に取り組むことができる。		医療倫理学、医療人類学などの学際領域の知見を能動的に学び、医療実践との関連で、現代社会に存在する生命倫理的課題を理解する。		
	MH25カリ・保健・看護, MH23カリ・保健・看護				
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		生命倫理学、医療倫理学、看護倫理学の成り立ちの歴史、実践上の理論を学際的に学び、様々な看護の臨床場面に活用法を学ぶ。		
	MH25カリ・保健・検査, MH25カリ・保健・理学, MH25カリ・保健・作業, MH23カリ・保健・検査, MH23カリ・保健・理学, MH23カリ・保健・作業				
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		医療倫理学、医療人類学などの学際領域の知見を能動的に学び、医療実践との関連で、現代社会に存在する生命倫理的課題を理解する。		
	MH25カリ・保健・看護, MH25カリ・保健・検査, MH25カリ・保健・理学, MH25カリ・保健・作業, MH23カリ・保健・看護, MH23カリ・保健・検査, MH23カリ・保健・理学, MH23カリ・保健・作業				
授業で学べる「テーマ」	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		医療倫理学、医療人類学などの学際領域の知見を能動的に学び、医療実践との関連で、現代社会に存在する生命倫理的課題を理解する。倫理的課題への対策について国際比較し、課題克服や目標達成のための方略を多角的に理解する。		
授業で学べる「テーマ」	多文化協働				
全学横断特別教育プログラム					
授業概要	生命倫理学の成立の歴史を含め、医療職者として必要な生命倫理学の基礎知識および基礎的概念について解説するとともに、実習事例に基づく検討のトレーニングを行います。これらを通して、医療職者としての倫理的感受性を養うことを目的とします。 本授業は、担当教員の医療現場での生命倫理学的問題（臨床倫理問題）の解決等に関与してきた実務経験を活かして講義を行います。担当教員は、保健師、助産師、看護師、認定遺伝カウンセラーの資格を有しています。 本講義は、看護学専攻、検査技術学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻の臨床実習と関連しています。				
授業計画	第 1 回（ 9月29日）生命倫理と医療倫理の成り立ち、歴史、諸理論 1（岡島・中込） 第 2 回（10月 6日）生命倫理と医療倫理の成り立ち、歴史、諸理論 2（岡島・中込） 第 3 回（10月13日）Jonsenの四分割法による分析方法（中込） 実習事例を四分割法で分析するレポート作成（10月20日に提出） 第 4 回（10月20日）実習事例の分析を発表（グループ内）（中込） 第 5 回（10月27日）看護臨床における倫理的課題 ゲストスピーカー（信大病院 看護部から）（中込） 第 6 回（11月10日）倫理的配慮・コミュニケーション（中込） 第 7 回（11月17日）倫理的課題を持つ事例に対する実践報告 1（岡島・中込） 第 8 回（11月24日）倫理的課題を持つ事例に対する実践報告 2（岡島・中込）				
授業の進め方	講義とグループディスカッション、コミュニケーションについてはロールプレイを行います。				
テキスト、教材、参考書	教科書はとくに指定しませんが、講義中に紹介します。				
成績評価の方法	1 中間レポート（10月13日の課題レポート）をもとに、10月20日に分かち合った後、11月24日までに再提出したものを評価します。（30点） 2 第2回、第3回、第6回の講義に関する小テストを講義終了後に行います。（10点×3） 3 ロールプレイ後の気づきレポート（10点） 4 第7回、第8回講義後レポート（15点×2）				
成績評価の基準	成績評価の基準は次の通りです。60点以上を合格とします。 100点～90点：秀、89点～80点：優、79点から70点：良、69点～60点：可 レポートについては、おおむね次のように評価します。なお、中間レポートが期日までに未提出の場合、原則として成績評価の対象になりませんので、ご注意ください。 (i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、か				

成績評価の基準	つ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v) の 5 項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4 項目までできていれば「やや上にある（良）」。3 項目までできていれば「水準にある(可)」。
事前事後学習の内容	【予習】本授業を受講する前提として、講義課題に取り組みましょう。 【復習】復習のために授業で紹介した文献や情報サイトを読みましょう。 【事前学習について】毎回、授業の終わりに、次回までに調べてくるべき内容について、いくつかのキーワードを提示します。 【事後学習について】コメントペーパーを書くために毎回、授業のはじめに、前回の授業の要点について質問をしますので、自分の言葉で簡潔にわかりやすく説明できるように準備しておいてください。 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間15時間（2時間×7.5回）+ 自己学習時間30時間（4時間×7.5回）= 45時間 自己学習時間を考慮して事前及び事後の学習に取り組んでください。
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	オンデマンド型オンライン授業の場合は、期限までの課題の提出をもって出席としてあつかいます。 グループワーク等、学生同士のディスカッションの際には積極的に発言してください。 質問は積極的にして下さい。メールsnakagomi@shinshu-u.ac.jpでも受け付けます（必ず大学アドレスから氏名と学籍番号を明記の上で送信し、3 日以内に返信がない場合は再送信のこと）。 オフィスアワーは、指定しません。